

熊井の森通信

発行/熊井の森トラスト基金

〒350-0314 埼玉県比企郡鳩山町
楓ヶ丘2-2-1 かわせみハウス
NPO法人はとやま環境フォーラム 気付
メール kawasemi3001@gmail.com

☎049-227-3001 049-227-3068 (FAX) ホームページ <https://hatoyama.info/>

9月・10月の活動予定

■栗ひろいイベント、今年は2回開催にチャレンジ

秋の収穫イベントのお知らせ

栗ひろい&焼きたてピザ
9月15日(日)・22日(日)
9:30 受付～13:30
集合場所
鳩山町上熊井集落センター
1人3500円(5歳～)

お土産 栗 500g付き 焼き栗 焼きたてピザをどうぞ



2023年栗ひろい

石窯で焼いた
ピザは最高!
デザートも
どうぞ

主催 NPO法人はとやま環境フォーラム
申し込み 049-227-3001 kawasemi3001@gmail.com

今年で4回目の開催となる「味覚体験イベント」ですが、これまでに蓄積してきたノウハウを生かし、生産者との話し合いを踏まえて、「栗ひろい」を9月15日と22日の2週連続2回開催にチャレンジします。参加料金も3500円とちょっと高めに設定し、広報を早めに開始し、中身の充実で参加者数の目標達成を目指していますが、苦戦しています。お知り合いへの参加の声掛けにご協力。

■熊井の森トラスト3号地の草刈り作業開始

8月理事会で今年度下半期の活動実施計画が決定しましたので作業を開始します。9月12・13日実施予定の作業(ピザ窯上のトラスト3号地斜面の法面にあった山作業用の道を回復させるための草刈り)の後、順次、石場沼下駐車場用地草刈り、トラスト1・2号地の雑木林再生のた

めの下草刈り、観音寺下休耕地の草刈りなどを10、11月に予定しています。実施に当たっては、8月22日の学習観察会での講演「雑木林の再生と生物多様性の維持」を参考にします。詳しい日程はこれからメールでお知らせしますので、ご都合のつく方はぜひご協力ください。

■第7回「まちづくり懇談会」を開催

8月開催の第6回懇談会に引き続き、9月28日(土)午後5時より7時まで、かわせみハウスで第7回「まちづくり懇談会」を開催します。参加費(資料代 300円)。
鳩山町に若い町長が誕生し、まちおこしの機運が高まっている折に、住民自身も勉強し、「楽しみながらまちおこしをしようよ」という仲間づくりが目的です。これまであまり接点のなかった人や若い人たちにも積極的に呼びかけます。ぜひご参加ください。

■越辺川アユ捕りイベントに協力

9月16日(月・祝日)石今橋下集合で「アユ漁体験と魚捕り」(主催・NPO法人荒川流域ネットワーク)イベントが開催されます。長年協力関係にある団体の主催で、今年も、交通誘導・会場草刈りの協力要請が来ています。子どもたちに越辺川の自然に親しんでもらう貴重な機会です。サポート協力できそうな方ご一報ください。

■ハト麦刈り取りとハザ掛けにご協力を

9月25日にハト麦の刈り取りとハザ掛け作業をします。日程の変更もありますので詳細は問合せ下さい。

■芋掘りイベントは中止

10月に予定していた「芋掘りイベント」は、イノシシの被害にあい、芋が全滅したため中止となりました。

9月・10月 活動スケジュール

9月	1日(日)	午前8時半～	資源回収
	10日(火)	午前9時半～	理事会
		午後1時半～	9月定例観察会
	12日(木)	午前9時～	トラスト3号地草刈り
	13日(金)	午前9時～	トラスト3号地草刈り
	15日(日)	午前9時～	栗拾いイベント
	16日(日)	午前9時～	アユ捕りイベント協力
	22日(日)	午前9時～	栗拾いイベント
	25日(水)	午前9時～	はと麦刈り取りハザ掛け
	27日(金)		「熊井の森通信」34号発行
	28日(土)	午後5時～	まちづくり懇談会
	29日(日)	午前10時～	ピザ窯パーティ
10月	6日(日)	午前8時半～	資源回収
	8日(火)	午前9時半～	理事会
		午後1時半～	10月定例観察会

8月の活動報告

■暑気払いで流しそうめん気分 初体験の人も



8月4日(日)、「暑気払い」でのお楽しみ企画として、そうめん流しを計画しました。モーターを使って、立体的に水がぐるぐると循環し、そうめんが流れていきます。流しそうめん初体験のフランス人会員の息子さんからは、「流しそうめんを体験できて本当に嬉しくて、とても楽しかったです。流しそうめんマシンは持ち運びができて、便利な場所に設置できるので素晴らしいですね。流しそうめんを体験するまで、そうめんを食べるのがこんなに楽しいと思ったことはありませんでした」との感想が届きました。

■8月理事会で下半期の活動計画が承認

8月6日(火)、8月定例理事会を開催。7月の活動報告に続き、直近の活動(熊井の森観察会、写真学校、ピザ窯パーティーなど)の準備状況の確認のあと、下半期の活動実施計画案を元に討議し、トラスト地での雑木林再生活動と栗ひろいなどの味覚満喫イベント概要、フォーラム農園の運営、はとやま祭参加、秋のエコフェスタ比企の開催などの事業計画が承認されました。

■ピザ窯横の資材置き場の片付け



8月7日(水)、3人でピザ窯横に置いてある資材の整理片づけをしました。ハト麦栽培のお師匠さん(渡邊さん)から頂いた畑作りに用具を仮置きしてあるのですが、この前の大雨でプラバケツなどに水がたまり、シートもめくれてしまっていたので、エイヤッと片づけました。簡単な物置

を有志につくってもらうので、これからは道具の出し入れがやりやすくなるはずですよ。

■みんなで育てる森づくり学習講演会を開催



8月22日(木)午後2時に、上熊井集落センターに集まって、熊井の森の生きもの観察会をした後、会議室で、「熊井の森」の雑木林の再生と生物多様性の維持をテーマにした学習会を行いました。講師は熊井の森をよく知っている串田宏人さんに、これからの活動の基本となる、生きものの生態に配慮した雑木林の整備再生の仕方について講演していただきました。

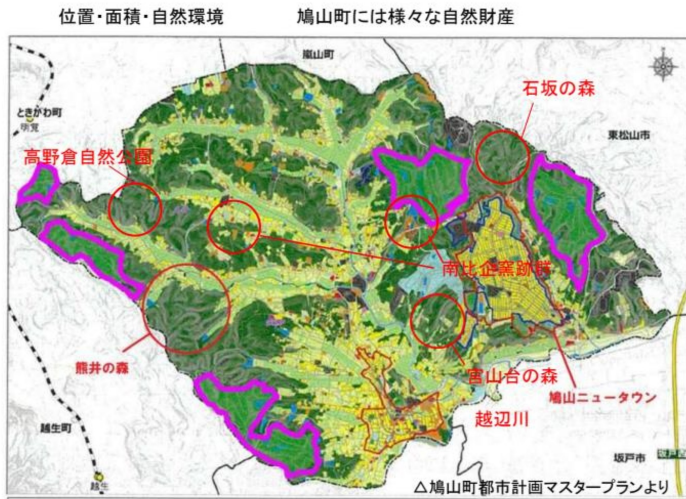
■猛暑の中、秋を感じる熊井の森写真学校を開催



8月25日(日)に2024年度(第8期)第3回の写真学校を開催。猛暑の中での開催ということで、朝8時から現地集合とし、撮影会からスタートしました。陽の当たる場所は陽ざしが強くなる前に、陽ざしが強くなってきたら日陰を中心に熱中症に気をつけながらの撮影でした。それでも皆は、トンボやチョウ、キノコなどなど見つけ、カメラに納めていました。猛暑の8月といえど、植生や虫たちは秋の気配を感じさせるものが多くありました。次回第4回は10月27日に熊井の森で冬支度をする虫たちを探しに行く予定です。初めての方でも大歓迎です。参加お待ちしております。

■ピザ窯パーティーは9月29日に延期

8月25日(日)開催予定の「ピザ窯パーティー」は天気予報が雨模様だったため、9月29日(日)に延期しました。屋外イベントが天気に左右されるのは仕方ないのですが、日程変更ごとにスタッフの参加再確認や会場予約のやり直しとかで手間がかかります。事前に雨天の場合の対応もしっかり決めて置く必要があります。



自然財産・文化財産を活用した 地域おこしの基本的な考え方

- ◎ 従来の「地域おこし」の目的
(1)財政難解決のための自主財源創出に貢献
(2)若い世代を呼び込むための雇用機会の創出

発想の転換

- ◎ 新しい「地域おこし」の目的
(1)3年・5年・10年と長い目での目標設定をしたうえで、まちづくりに参画するプロセスそのものを事業目的とする。
利益を上げられるかどうかは二の次。取組みのプロセスの中から、**鳩山で起業する若い世代が定着するよう支援することが事業の目的。**
(2)雇用機会の創出は、単なる臨時雇用や現業作業員の就業先の確保ではなく、若い世代自身が仲間と起業し、**小さいが元氣なユニークな会社の複数の誕生による雇用拡大を目指す。** ←地域の活性化

8月17日(土)、第6回まちづくり懇談会を開催しました。参加者は大橋、上熊井、下熊井、NT、石坂在住の10名。始めに当団体がこの5年間、取り組んできた「鳩山の魅力再発見」プロジェクトの検討結果を発表。ポイントは「鳩山の豊かな自然は、多様な生物の生息にかけがえない場であり保全すべきである。また鳩山や近隣市町村住民にとっても、自然に親しめる恰好の憩いの場であり、子育てに最適な環境を提供してくれる。そうした自然財産を活かしたまちづくりこそが、鳩山町ならではのまちおこしの在り方である」ということです。

その後、参加者と意見交換をおこない、鳩山町全域を、

環境庁の「自然共生サイト」に認定し、「科学」と「自然」と「芸術」を柱にしたSDGs時代にマッチしたまちづくりをすれば、世界に発信できる魅力的な鳩山になるのではないかと。鳩山には様々な人材が眠っている。子どもたちや若者と高齢者が一緒になって「まちづくりを楽しむ」ことが大事である、などなど。いろいろな意見が出ました。

そして、今回の問題提起をきっかけにもっと多くの人と一緒に考えていきたいということで、かわせみハウスで9月にもう一度この懇談会を開催することになりました。

第7回まちづくり懇談会 9月28日(土)午後5時～

「人為的な自然」の誕生

「熊井の森」づくりの基本知識 ③



▲出典：環境省「みんなで学ぶ、みんなで守る生物多様性」HPより

前回のコラムでは、「遷移(せんい)」という長い年月をかけて、順を追って、安定した森(極相林)へと移り変わっていく過程の中で、人はその時々合った自然の恵みを得ていたという話をしました。

そして、何もしなければ極相林になってしまう中、求められる自然の恵みも時代時代で移り変わってきます。

例えば、屋根がかやぶきで、さらに牛や馬などを養う必要があれば多くの草地(カヤ場)が求められます。燃料として炭や薪がより多く必要であれば、鳩山町のある比企丘陵のあたりではクヌギやコナラなどの落葉広葉樹の雑木林が求められ、戦後は経済成長を背景に建材として杉やヒノキなどの針葉樹の植林が国の政策として進められました。しかし、人の営みの変遷と自然に遷移する速さが必ずしも一致する訳ではありません。そのため人々は遷移を必要な段階に留める活動を続けてきました。たとえば、草地を意図的に維持するため刈り取りや野焼きをすることで藪にならないようにしたり、雑木林を定期的に伐採することで使い勝手の良いサイズの木がたくさんある状態に保ったり、結果的に極相林にならない状況にしてみました。

こうして「特定の目的のために人が遷移を止め続ける場所」という、人為的な自然が生まれました。この「人為的な自然」は本当に長い間、大規模に維持され続け、その結果、その環境に適応した生き物たちが大いに栄えたわけです。しかし、近年になって状況が急変してしまいました。(次回へ続く)

ニ－ハオ 熊井の森歳時記

露草（ツユクサ） わずかな楽しみ



▲ツユクサ

「誰にも言わずにおきましょう。朝のお庭の隅っこで、花がほろりと泣いたこと。」

金子みすゞのこの詩は、露草（ツユクサ）に宿った露を涙に見立て、ホロリとこぼれる様子を表現したのです。想像に翼を与える、すばらしい童話王国ですね。しかも、露草の花は実に面白いんです。

花びらがミッキーマウスの耳のように大きくそばだっていて、花粉を運んでもらう虫さんに「おいでおいで」と囁いてるような姿が、何とも言えず、弱々しくも可愛いらしいのです。でも、実際には、露草は強い生存戦略の持ち主なんです。花が閉じるとき、おしべとめしべがくるくると丸まりながら縮んでいき、虫さんに頼らなくても、自分で花粉をつけること（自家受粉）ができるのです。生きていくため、子孫を残すため、ここまで進化してきたんだと眺めるたびに思わず尊敬しちゃいます。

さらに、露草の和名は、色や形や効能によって180種類以上（例えば青花、帽子花、月草など）もあるそうです。中国においても翠胡蝶や翠娥眉、竹葉菜や鴨跖草など、素敵な別名がたくさんあって、とても興味深いです。

さあ、お庭でも森でも入って、露草をよく観察し、「わずかな楽しみ」（花言葉）を楽しみましょう！（王菲）

森の中へ

自然にふれ、生きものから学ぶ月例散策便り ⑦

宿主のススキの根に寄生する植物



▲ナンバンギセル

普段は、毎月1回、生きものに興味のある会員たちで、ちょっとばかり生きものに詳しくなりたい私が先導役になって、観察会を行っています。そして、年に数回、めっちゃうちゃ生きものに詳しい専門家に来ていただき、スペシャルな観察会を楽しめることがあります。直近では8月22日に、串田宏人さんを講師に行われた「『みんなで育てる森づくり』学習講演会&熊井の森生きもの観察会」がそれにあたり、現地での自然観察をはじめ、より自然に配慮をした森の管理方法を教えていただきました。

観察会では色々な生きものに会えたのですが、今回、特に私の興味を引いたのが「ナンバンギセル」というハマウツボ科ナンバンギセル属の植物です。この植物はススキなどのイネ科の植物に根に寄生し7月から8月にかけて花を咲かせるのですが、葉緑素が無く、とても独特な見た目をしています。宿主のススキは増えすぎると他の植物を駆逐してしまい厄介なのですが、かと言って全部駆除してしまうとナンバンギセルも居なくなってしまうため一部のススキの株を残すような管理をするとうい教えていただきました。

また、講演の中で、熊井の森では129種（動物89種・植物40種）もの希少生物が見つかっていてとされており、この森の豊かさや大切さを一段と強く感じる事が出来ました。普段の観察会ももちろん楽しいのですが、時にはこうした特別な観察会に参加することも、より深く自然を知ることが出来る良い機会になるのではないのでしょうか。（愛場 結偉）

熊井の森トラスト基金への支援を

★1口 5000円から

<振替口座> ■ゆうちょ銀行
記号番号 00210-4-143207
加入者名 熊井の森トラスト基金

<普通口座> ■ゆうちょ銀行 支店 〇三八
口座番号 9472664
口座名義 クマイノモリトラストキケン
（熊井の森トラスト基金）

★年会費 3000円支援の場合

■ゆうちょ銀行 店名 〇三八 店番038 普通預金
口座番号 96656981
口座名義 トビハヤカシヨウフォーム

定例観察会のご案内

開催日 : 毎月第2火曜日
集合場所: 熊井の森・石場沼下の空き地
（駐車場としてお借りしています）
集合時間: 午後1時半 （終わりは午後3時過ぎ頃）

はとやま環境フォーラムは月に一度（第2火曜日 午後1時半～3時過ぎ）、熊井の森に入り観察会を行っています。その時々に出会えた生き物を記録し、熊井の森のより良い在り方を模索するため、継続的に森や周辺の変化を楽しみながら調べています。ご興味のある方はどうぞお気軽にお越しください。

足の便の都合のつかない方はご一報を。ニュータウンかわせみハウス前で待ち合せて相乗りで向かい、帰りも一緒できます。